



**Web講演会**

配信中 18:30~20:00

高齢糖尿病患者におけるサルコペニア診療の重要性

**eディテリング**

獲得可能アップ数 **4,404up**

締め切りまで **1,000up**  
7日以内

診療所の医師を対象としたオンラインでの参加型講義に関するアンケート

アンケートに答える

**50pt**

**デイリークエスト 2up**

知人医師紹介キャンペーンにアクセス(1日1回まで)

**ケアネット会員限定！**

**会員特典**

**本日の臨床クイズ**

ポリソムノグラフィには血圧測定が含まれる。

クイズに答えてアップを獲得する

**人気記事ランキング**

週間 月間

1 凋落の東京女子医大、吸収合併も現実味？ ざわつく水曜日

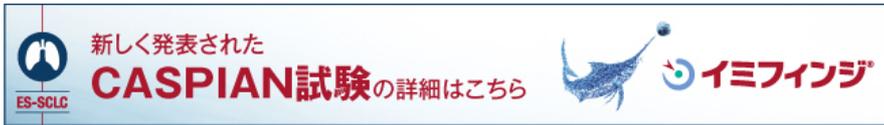
2 COVID-19が季節性感染症になる可能性は？ 医療一般

3 今冬の発熱患者対応、注意点と補助金を整理／日本医師会 医療一般

4 COVID-19病原体検査の指針を発表／厚生労働省 医療一般

5 新型コロナウイルス、皮膚表面での生存期間はインフルの5倍 医療一般 日本発エビデンス

6 COVID-19、集団免疫への依存は「科学的根拠のない危険な誤り...



## レムデシビル、COVID-19入院患者の回復期間を5日以上短縮／NEJM

提供元：ケアネット ツイート いいね！ 3 公開日：2020/10/20

米国・国立アレルギー・感染症研究所（NIAID）のJohn H. Beigel氏は、「ACTT-1試験」において、レムデシビルはプラセボに比べ、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）入院患者の回復までの期間を有意に短縮することを示し、NEJM誌オンライン版2020年10月8日号で報告した（10月9日に更新）。COVID-19の治療では、いくつかの既存の薬剤の評価が行われているが、有効性が確認された抗ウイルス薬はないという。



### 10カ国1,062例のプラセボ対照無作為化試験

研究グループは、COVID-19入院患者の治療におけるレムデシビルの臨床的な安全性と有効性を評価する目的で、日本を含む10カ国が参加した二重盲検プラセボ対照無作為化第III相試験を行った（米国NIAIDなどの助成による）。

2020年2月21～4月19日の期間に、COVID-19感染が確定され、下気道感染症の証拠がある成人の入院患者1,062例が登録され、レムデシビル（541例）またはプラセボ（521例）を投与する群に無作為に割り付けられた。レムデシビルは、1日目に負荷投与量200mgを静脈内投与され、2日目から10日目または退院か死亡まで維持投与量として100mgを1日1回投与された。

主要アウトカムは、登録から28日以内における回復までの期間とした。回復は、退院または入院の理由が感染管理のみ、あるいはその他の非医学的事由の場合と定義された。

### 回復までの期間中央値：10日vs.15日

全体の患者の平均年齢は58.9±15.0歳で、64.4%が男性であった。79.8%が北米、15.3%が欧州、4.9%がアジアの患者であった。登録時に、ほとんどの患者が1つ（25.9%）または2つ以上（54.5%）の併存疾患を有しており、高血圧が50.2%と最も多く、肥満が44.8%、2型糖尿病が30.3%であった。症状発現から無作為割り付けまでの期間中央値は9日（IQR：6～12）で、957例（90.1%）が重症COVID-19感染患者だった。

回復までの期間中央値は、レムデシビル群が10日（95%信頼区間[CI]：9～11）、プラセボ群は15日（13～18）であり、レムデシビル群で有意に短かった（回復の率比：1.29、1.12～1.49、log-rank検定のp<0.001）。重症例における回復までの期間中央値は、レムデシビル群が11日、プラセボ群は18日であった（1.31、1.12～1.52）。また、ベースライン時に機械的換気または体外式膜型人工肺（ECMO）を導入されていた患者の回復の率比は0.98（0.70～1.36）だった。

8つのカテゴリーから成る順序尺度による比例オッズモデルを用いた解析では、15日の時点で臨床的改善が達成される確率は、レムデシビル群がプラセボ群よりも高かった（実際の疾患重症度で補正後のオッズ比[OR]：1.5、95%CI：1.2～1.9）。

Kaplan-Meier法による推定死亡率は、15日時がレムデシビル群6.7%、プラセボ群11.9%（ハザード比[HR]：0.55、95%CI：0.36～0.83）、29日時はそれぞれ11.4%および15.2%（0.73、0.52～1.03）であった。

重篤な有害事象は、レムデシビル群が532例中131例（24.6%）、プラセボ群は516例中

**Medical Gateway**

医療情報チェックで **アップ獲得**

**Web 講演会**

**eディテリング**

[まとめ] 解明ミトコンドリア～糖尿病研究最前線～

2up

解明ミトコンドリア～糖尿病研究最前線～

小児・思春期・若年成人の筋力低下に潜む Ⅲ型脊髄性筋萎縮症(SMA) 早期発見のポイント

04:56

1000up

エンズプリング新発売の案内

06:21

100up

ピンダケル 心アミロイドーシス患者トーク AHA2019

08:01

100up

服薬負担を考慮した糖尿病治療

04:37

未視聴

内科医のための不眠症治療カンファレンス 第2回

06:09

未視聴

もっと見る

おすすめ期間中のすべてのeディテリングを視聴すると**コンプアップ20up**が獲得可能！

**まだコンプアップを獲得できません**

163例（31.6%）で報告された。治療関連死は認められなかった。全体で頻度の高い非重篤な有害事象として、糸球体濾過量低下、ヘモグロビン低下、リンパ球数低下、呼吸不全、貧血などがみられ、発生率は両群でほぼ同等であった。

著者は、「米国食品医薬品局（FDA）は、レムデシビルの初期結果を考慮して、2020年5月1日、COVID-19感染が疑われる、または確定した成人および小児の入院患者において、レムデシビルの緊急時使用許可（EUA）を発売（8月28日に修正）したが、レムデシビルを使用しても死亡率は高いことから、抗ウイルス薬単独では十分な効果は得られないと考えられる」と指摘し、「患者アウトカムを改善するには、さまざまな薬剤との併用療法が必要であり、現在、レムデシビルと免疫調節薬（例：JAK阻害薬バリシチニブ [ACTT-2試験]、インターフェロンβ-1a [ACTT-3試験]）との併用が検討されている」としている。

(医学ライター 菅野 守)

原著論文はこちら

Beigel JH, et al. N Engl J Med. 2020 Oct 8. [Epub ahead of print]

掲載内容はケアネットの見解を述べるものではありません。（すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。）

関連記事

バリシチニブ、レムデシビルと併用でCOVID-19回復期間を有意に短縮／米・リリー  
医療一般 (2020/09/22)

本邦におけるレムデシビルの投与基準は妥当か？（解説：山口佳寿博氏）－1285  
CLEAR!ジャーナル四天王 (2020/09/16)

レムデシビル、中等度COVID-19への効果は？／JAMA  
ジャーナル四天王 (2020/09/03)

視聴されていないコンテンツがあります

このページを印刷する

ツイート

いいね！ 3

コメント0件

並び替え

最新

コメントを追加...

Facebookコメントプラグイン

【最新ニュース】

PCI後プラスグレルのde-escalation法、出血リスクを半減／Lancet (2020/10/22)

Pfizer社のCOVID-19ワクチン候補、第I相試験結果／NEJM (2020/10/22)

進行TN乳がん1次治療へのペムプロリズマブ+化療、日本人解析結果（KEYNOT... (2020/10/22)

FDA、急性骨髄性白血病の寛解導入にベネトクラスの併用療法を承認 (2020/10/22)

新型コロナ流行時に喘息入院が減少、生活様式の変化が奏功か (2020/10/22)

統合失調症と気分障害の入院患者における代謝障害の相違点 (2020/10/22)



日本イーライリリー株式会社



ケアネットからのお知らせ
ご登録情報にお変わりありませんか？
メールアドレス
勤務先情報
会員情報変更はこちら

番組視聴はコチラ
CareNet TV ER
で闘うための手技

期間限定 知人医師紹介キャンペーン!!
7,000pt プレゼント
今だけ7倍!!
カンタンに紹介できます!

医師閲覧ランキング

林先生とコム太が楽しく解説! CareNet.comの使い方
視聴時間 4分50秒

つねに学ぶ、つねに成長する「医師」×「意志」をサポートします
MEDuLiTe Medical Education for a Lifetime

Breast cancer Frontline
乳がん診療 Frontline
CareNet × 手術手技

手術手技
エキスパートの手術手技を動画で配信

なぜ高齢者はCOVID-19が重症化しやすいのか  
(2020/10/22)

BMIより腹部肥満の方が重要  
(2020/10/22)